

会 議 録

1. 会議の名称 平成 29 年度 第 1 回岡谷市まち・ひと・しごと創生有識者会議
2. 会議日時 平成 29 年 12 月 13 日(水) 午前 10 時 30 分～午前 11 時 50 分
3. 開催場所 岡谷市役所 9 階 大会議室
4. 出席者氏名

- (1) 委員

小口 泰史 委員、笠原 新太郎 委員、中村 文明 委員(代理出席/味澤宏重)
中山 昇 委員(代理出席/渋澤知祥)、飯島 勉 委員、杉村 法夫 委員、
今井 竜五 委員、小口 明則 委員 (以上、11 名中 8 名出席)

- (2) 執行機関

岡谷市まち・ひと・しごと創生推進本部

岩本 博行(教育長)、岩垂 俊男(企画政策部長)、百瀬 邦彦(市民環境部長)
小口 浩史(健康福祉部長)、赤沼 喜市(産業振興部長)、尾張 嘉紀(工業政策部長)
山岸 徹(建設水道部長)、吉澤 洋人(教育部長)、三村 靖夫(教育担当参事)、
酒井 吉之(岡谷市民病院事務部長) (以上 10 名)

岡谷市まち・ひと・しごと創生推進室(事務局)

岡本 典幸(室長)、宮坂 征憲、清水 亮、田村 賢二、広瀬 智子、百瀬 ひろみ、日岐 充利
原 尚彦(代理出席/師岡竜也 商業観光課長)、三澤 達也、高橋 卓、鈴木 桂、新村 尚志
(以上 12 名)

5. 議 題

岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

- (1) 平成 28 年度の効果検証について
- (2) 平成 28 年度地方創生加速化交付金事業の効果検証について
- (3) 平成 29 年度地方創生推進交付金を活用した事業について

6. 会議資料の名称

資料 1 岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略 ～平成 28 年度の実施状況～

7. 発言の内容

事務局	<p>それではお時間となりましたので、始めさせていただきます。本日は大変お忙しいなか、お集まりを頂きまして誠にありがとうございます。本日司会をつとめさせていただきます、まち・ひと・しごと創生推進室長の岡本と申します。よろしく願い申しあげます。</p> <p>開会の前に市民憲章の唱和を行いますので、恐れ入りますがご起立をお願いいたします。次第の裏面に憲章文がございます。職員が前文を読みますので「私たちは」からご唱和をお願いします。</p> <p>(全員で市民憲章唱和)</p>
事務局	<p>ありがとうございました。ご着席ください。</p> <p>それでは委嘱書の交付に先立ちまして、若干ご説明をさせていただきます。この会議につきましては昨年度まで 19 名という委員の構成により議論を進めて参りましたが、新たなまちづくりの基本的な計画となります「第 5 次岡谷市総合計画」の策定を控えまして、この「岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」につきましても、1 年前倒しをして見直しを行ってまいりたいと考えております。</p> <p>このため、今年度につきましては、来年度設置する総合計画策定のための審議会との関係から、委員の人数について調整を行ったため、昨年度に比べて委員数が少なくなっているということでございます。今後の展開を見据えての対応となっておりますので、ご理解をいただきたいと存じます。</p> <p>【委嘱書交付】</p>
事務局	<p>それでは、委員のみなさまへ委嘱書の交付を行いたいと思います。今井市長がみなさまの前に進みますので、委嘱書をお受け取りいただきたいと思います。</p>
会長	<p>(出席委員(代理出席含む)への委嘱書交付)</p>
事務局	<p>【開会】</p> <p>それでは、ただいまから平成 29 年度第 1 回岡谷市まち・ひと・しごと創生有識者会議を開催いたします。はじめに、岡谷市まち・ひと・しごと創生有識者会議会長でございます、今井市長よりごあいさつを申し上げます。</p> <p>【会長あいさつ】</p>
会長	<p>皆さん、改めましてこんにちは。今年も残り少なくなりまして、慌ただしい気分になっているところでございますが、そのような中でございますけれども、本当にお忙しいなか、本日はこの「まち・ひと・しごと創生有識者会議」にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また、このたびは、「岡谷市まち・ひと・しごと創生有識者会議」の委員をお願いいたしましたところ、お引き受けいただきましたことにも、重ねて感謝を申し上げます。</p> <p>さて、国と地方によります地方創生の取り組みが平成 27 年度にスタートいたしまして、2 年半が経過をしたところでございます。この間、本市におきましても、「岡谷市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」に掲げました、平成 72(2060)年の将来展望人口 4 万人台の維持を実現するため、「たくましい産業創造戦略」、「岡谷ブランド発信戦略」、そして「輝く子ども育成戦略」、また「安全・安心の伸展戦略」の 4 つを基本戦略といたします「岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、本市の特色ある地域資源を最大限に活かしながら各種の施策を展開し、岡谷市の創生を目指して取り組んできたところでござい</p>

す。

この結果、今年3月に長野県が公表いたしました「平成28年長野県の人口」によりますと、岡谷市は、平成28年中の年間増減は364人の減となり、平成27年中の503人の減に対しまして減少幅が縮小したことなどから、一定の成果があったものと認識をしているところでございます。

本日の会議では、平成28年度の取り組みによる重要業績評価指標(KPI)の効果検証について委員のみなさまにご報告をするとともに、施策や事業の効果をさらに高めるために、ご意見を頂きたいと考えております。また、本会議の結果を踏まえ、必要に応じて事業等の見直しを行い、現在進めております平成30年度予算編成のなかで十分検討して参りたいと考えておりますので、ぜひ忌憚のないご意見をいただきますよう、重ねてお願いを申し上げます。

岡谷市の創生に向けて、人口減少に歯止めをかけるための施策をこれまで以上に力強く展開し、安全で安心して暮らしていける魅力と活力のあるまちづくりを進めて参りますので、どうかご支援賜りますよう、よろしく願いいたします。

【自己紹介】

事務局

続きまして、今回、新たなメンバーによります最初の会議でございますので、委員の皆さまより自己紹介をいただきたいと存じます。それでは、小口委員さんから席順にお願いいたします。

(出席委員 自己紹介)

事務局

ありがとうございました。なお、本日都合によりまして、株式会社岡谷市民新聞社 薩摩委員さん、また、岡谷市市民憲章推進協議会 太田委員さんがご欠席でございます。なお、TPR労働組合 武田委員さんにつきましては、若干遅れて参るという予定でございますので、よろしく願いいたします。続きまして、市側の自己紹介をさせていただきます。

(市側 自己紹介)

【会議事項】

事務局

それでは会議事項に入りたいと思います。「岡谷市まち・ひと・しごと創生有識者会議設置要綱第5条」の規定によりまして、会長が座長となることとなっておりますので、ここからは今井会長の進行をお願いしたいと思います。

会長

それでは早速会議事項に入らせていただきます。「会議事項1 岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略について」のうち、「(1) 平成28年度の効果検証について」を議題といたします。それでは説明をお願いします。

事務局

(1) 平成28年度の効果検証について【資料1より説明】

※資料1 「岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略について」

会長

今、事務局の方から説明をさせていただきました。これをご覧になって頂きましてのご質問、またご意見、感想でも結構ですので、ありましたらご発言をお願いいたします。

このような形で数値目標を持ちながら、目標をクリアするための努力を続けているといったことかなと思います。中にはクリアできたものもありますし、クリアするためにはまだまだ努力をしていかなければいけないもの、目標数値の達成数字が低いものなど、いろんなものがあったら思っているところでございますけれども、総合戦略と言うことでこのようなことに力を入

れてやっております。ご質問、ご意見ありますか。

(発言なし)

会長

なければ、この総合戦略をこのまま引き続き、事業として続けさせていただきたいと思えますので、ご了承を頂きたいと思えます。個別の質問がありましたら、事務局の方へお寄せ頂ければ、事務局からご説明させていただきますとともに、平成 30 年度予算編成の参考にさせていただきますので、よろしく願いいたします。

事務局

次に、「(2)28 年度地方創生加速化交付金事業の効果検証について」を議題といたします。引き続き、事務局よりご説明をお願いいたします。

(2) 平成 28 年度地方創生加速化交付金事業の効果検証について【資料 1 より説明】

(3) 平成 29 年度地方創生推進交付金を活用した事業について【資料 1 より説明】

今、「(2)平成 28 年度地方創生加速化交付金事業」と「29 年度推進交付金を活用した事業について」、まとめて説明をさせていただきました。(2)と(3)につきまして、分かったことで、感想ですとか質問ですとか、ご意見等がありましたらお願いいたします。

委員

この交付金のこと、全体的なことよろしいでしょうか。

会長

どうぞ

委員

交付金のところを見させていただいて思ったのは、事業効果に対する「効果があった」、「相当あった」、「かなりあった」と書いてあるんですけども、ちょっと違和感がある感じがあります。

これで「相当効果があった」と判断されるのかな、という感じがする項目がいくつかあるなというのは感じます。これは感想なのであれなんですけど、全体的な話で、来年度に第 5 次岡谷市総合計画を策定されると思うんですけど、それとこの「まち・ひと・しごと創生総合戦略」との関係性、位置づけについてというのが分からないので、その辺を教えていただきたいと思えます。よろしく願いいたします。

事務局

(宮坂)

まず感想としていただきました交付金の部分の「相当程度効果があった」というような部分のところでございますけれども、事業効果の部分につきましては、国の方で所定のフォーマットがございまして、「地方創生に非常に効果的であった」、「地方創生に相当程度効果があった」、「地方創生に効果があった」、「地方創生に対して効果がなかった」という 4 つの選択肢の中から、それぞれの事業の KPI の目標数値のほか事業全体の取り組みを踏まえて、4 つの選択肢の中から選んで報告するというような様式となっているため、今回資料としてご説明させていただいた状況になっているものでございます。数値だけではなくて、事業全体の取り組みを踏まえて総合的な評価でこの表現になっており、なおかつ国の方から示されている 4 つの選択肢の中から選ばざるを得ないというようなところでまとめておりますので、ご理解をいただきたいと思えます。

事務局

(岡本室長)

それでは私の方から、計画の関係、ご説明をさせていただきたいと思えます。この「まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定にあたりましては、国の方からの要望といたしまして、総合計画とは異なると、どう言うことかと言いますと、この総合戦略につきましてはあくまでも「人づくり」だとか「仕事づくり」、要するに総合計画の中から特化した内容で策定をしてもらいということで、年度当初お話があったものですから、この「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と

言うことで策定をした経過がございます。

しかしながら、これ5年間ということで、31年度まであるわけでございますけれども、来年度が岡谷市の第4次総合計画の最終年度となりますので、こちらの部分の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の関係につきましては、総合計画の中に一緒に取り込みながら、総合計画というのはまちづくり全体のものを示しながら、その一部の中に総合戦略、要するに「人づくり」、人の流れを止めるとか、仕事をつくるとか、そういうものを、特化した内容を合わせながら、一つの総合計画の中に総合戦略を含めてということで対応していきたいと、考えているところでございます。

委員

ありがとうございます。前にもちよっと申し上げたんですけど、5年間、決して長くない、中期の計画ということになると、やれることとか、国の予算とか限られてくると思いますので、ぜひ、もちろん考えておられると思うんですけど、メリハリをつけて、あれもこれもってやっちゃうと、何やってるのか分からなくなる、分からないというか効果が薄れちゃうような気がするので、「特にこれは」とか、「岡谷市だからこれをやるんだ」というメリハリ、強弱、ここはしっかりやるから、そういうやりかたを是非していただいたらどうかな、という気がします。感想と意見です。ありがとうございました。

会長

ありがとうございます。他にございますか。

よろしいですかね。こんな形でまたみなさんにレポート引き続きさせていただきたいということで、今、総合戦略と第5次岡谷市総合計画をマッチングをさせていくというふうにご理解をいただいて良い訳だね。ということで今後作っていきたいと思っていますのでよろしく願いいたします。事務局の方から何かございますか。

事務局

事務連絡になりますけれども、本日、代理出席以外の委員の皆様につきましては報酬のお支払い等がございますので、会議終了後、職員が席の方にお伺いさせていただきますので、しばらく席の方でお待ちいただきたいと思います。

会長

以上ですね。それでは本日の会議を閉じたいと思います。ありがとうございました。

事務局

ありがとうございました。それでは以上をもちまして岡谷市まち・ひと・しごと仕事有識者会議を終了いたします。誠にありがとうございました。

上記に相違ないことを確認する。

岡谷市まち・ひと・しごと有識者会議

会長 今井 竜五